

コード No. 18601

**Anti-Human
FGFR2/K-sam Rabbit IgG A.P. (Affinity Purify)**

容量 : 100 µg

はじめに : ヒトの胃癌細胞である KATO-III から、増幅している遺伝子として分離された *K-sam* (KATO-III cells derived stomach cancer amplified gene) 遺伝子は、その後 *FGFR2* (線維芽細胞増殖因子受容体 2)、*KGFR* (Keratinocyte growth factor receptor)、*Bek* (Bacteria-expressed kinase) などの遺伝子と相同であることが分かりました。*K-sam* 遺伝子は、選択的スプライシングにより、可溶性受容体をコードするものなど数種のバリエーションを生じます。それらのいくつかは同定され、機能についても研究されています。*K-sam* 遺伝子が胃癌、特にスキルス胃癌で増幅していることはよく知られています。

免疫抗原 : Human FGFR2/K-sam の合成ペプチド
(PSFSLVEDTTLEPE)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 2~5 µg/mL にて使用可能

使用方法 : ホルマリン固定、パラフィン切片 : マイクロウェーブ処理が必要(10mM クエン酸 buffer (pH 6.0) 10 分)

: ウェスタン ブロットニング 1~5 µg/mL にて使用可能

特異性 : scirrhous carcinoma で確認

* 本製品は国立がんセンター研究所分子腫瘍学部(当時)との共同開発品です。